

中田 國太郎 選 投稿数17首

農に生き後期高齢者になるも未だ現役土を耕す
 (評) 今、日本のマスコミや巷に様々の話題を提供している後期高齢者の医療制度を作者は、真摯に受けとめて心情を詠み込みいい歌になっている。特に下の句で「未だ現役」に作者の深い思いを込め「土を耕す」が効いている。大地に足をつきどつしりと生きている自信が表現されている。この法律は、病苦に耐えて必死に生きようとする老人の気力を殺ぐ冷たさを感じる。前田夕暮の一首「山原に人家居して子をなして老いゆく見れば命いとほし」老人に対する思いやりの心情があふれている。等原作「空っぽの」がいい。眞下作、「むらさき」が胸に沁む散る花のはなびら乗せて空っぽの真昼の電車きしみつつゆく
 皆野 笠原三三子
 ほとばしるごとく咲き増し日にそよぐ夫の遺愛のむらさき木蓮
 三沢 眞下 杏子
 恙なくとも老いたく健診を受けし安堵に春は爛漫
 皆野 新井 愛子
 道灌に山吹の花差し出せるゆかしき女の貌はいかにと
 三沢 新井 民子
 寿老人の絵の有る湯呑を愛用し長寿願望八十路のわれは
 皆野 金子善次郎
 山国の春は遅れてご時世においていかれて生きる寂しさ
 上日野沢 四方田利男
 狭庭辺の咲き次ぐ花に和む日々植え置きくれし夫の偲ばる
 下日野沢 浅見 豊子
 杉花粉黄砂吹き来て揺らぐ世のしつかりせよと抱き起す人
 皆野 塩田 千代
 突風のひと夜明くれば穏やかな春日に庭の花々笑める
 三沢 新井 叶子
 百歳を生きて逢はむと戯れし同窓の友今は亡く夢
 金崎 山田 雅子
 沢光り開花予報の流る朝娘は彼を紹介に来る
 下田野 安井 光代
 幾日も木の葉の影でちちちと今日はさえざるホーホケキョ
 皆野 金子 シゲ

引間 豊作 選 投稿数23句

ありたけの声を土産に一年生
 (評) 万葉の花も盛り卯月は、職場や学校での新しき希望に満ちた若者や児童の輝かしい門出の時にあたる。ピカピカの二年生の晴れやかな姿も見られる頃。掲句も今春新入生の児童が入学式の当日、初めての先生を知り、多くの仲間の名前もまだ覚えきれないまま、新たに覚えた通学路を戻って、晴れがましく家の玄関にたどり着く。留守番をしてくれた家族に元気な声で帰って来た挨拶。家では友達とうまくやってくれるだろうか、初めての歩きに足は疲れてはいないだろうかとの心配も、ありたけの「たいまの」声に安堵の瞬間。浮雲の影の迅さよ青き踏む
 山鳥のとびたつほどのにわか雨
 金沢 関和 起一
 下日野沢 高山 ユウ
 秩父路や一気に花の乱となる
 ひらひらと蝶も花見の仲間入り
 三沢 横田 龍雲
 下田野 藤田 稔
 餌をねだる声おさなくて孕猫
 三沢 眞下 杏子
 花咲いて明るくなりし過疎の村
 三沢 眞下 杏子
 白薔薇の芽吹き帽子を替えてみる
 鶯に箸を休める朝餉かな
 下田野 根岸 進
 紅梅の香に誘われし散歩路
 花の道久方ぶりに娘と歩む
 下日野沢 植木 豊子
 下日野沢 田端 マサ
 凛として桑の新芽や亡母の笑み
 皆野 塩田 千代
 新任の子を思いおり春の雷
 三沢 長谷河ソノ
 皆野 塩田 千代

俳句・短歌を募集
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して企画課へお寄せください。
 8日必着 1人1句、1首に限ります。

1歳のお誕生日おめでとう

1歳になる赤ちゃんを募集しています
 ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに総務課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。
 問合せ 総務課企画政策担当 ☎62-1230 内線204



しょうた 翔太くん

国神区 柏木 浩さん 佳菜美さん
 優しくて元気いっぱいな子に育ってネ♡



りょうくん 遼くん

下原区 広瀬 勝利さん 弥生さん
 とっても甘えんぼの遼くん☆元気でやさしい男の子に育ってね。